

株式会社三徳の株式取得について

2017年11月28日

日立金属株式会社
磁性材料カンパニー

幅広いラインナップの磁石製品を市場へ供給

エレクトロニクス関連：14%

家電・携帯機器

- ◆ネオジム磁石
- ◆フェライト磁石
- ◆情報部品



磁性材料
セグメント

2016年度・実績
売上収益
998億円

自動車関連：65%

- ◆ネオジム磁石
- ◆フェライト磁石

HEV・EV用



EPS用



産業用関連：21%

FA・産業機器

- ◆ネオジム磁石
- ◆フェライト磁石
- ◆磁石応用品



ネオジム磁石

世界トップブランド

NEOMAX

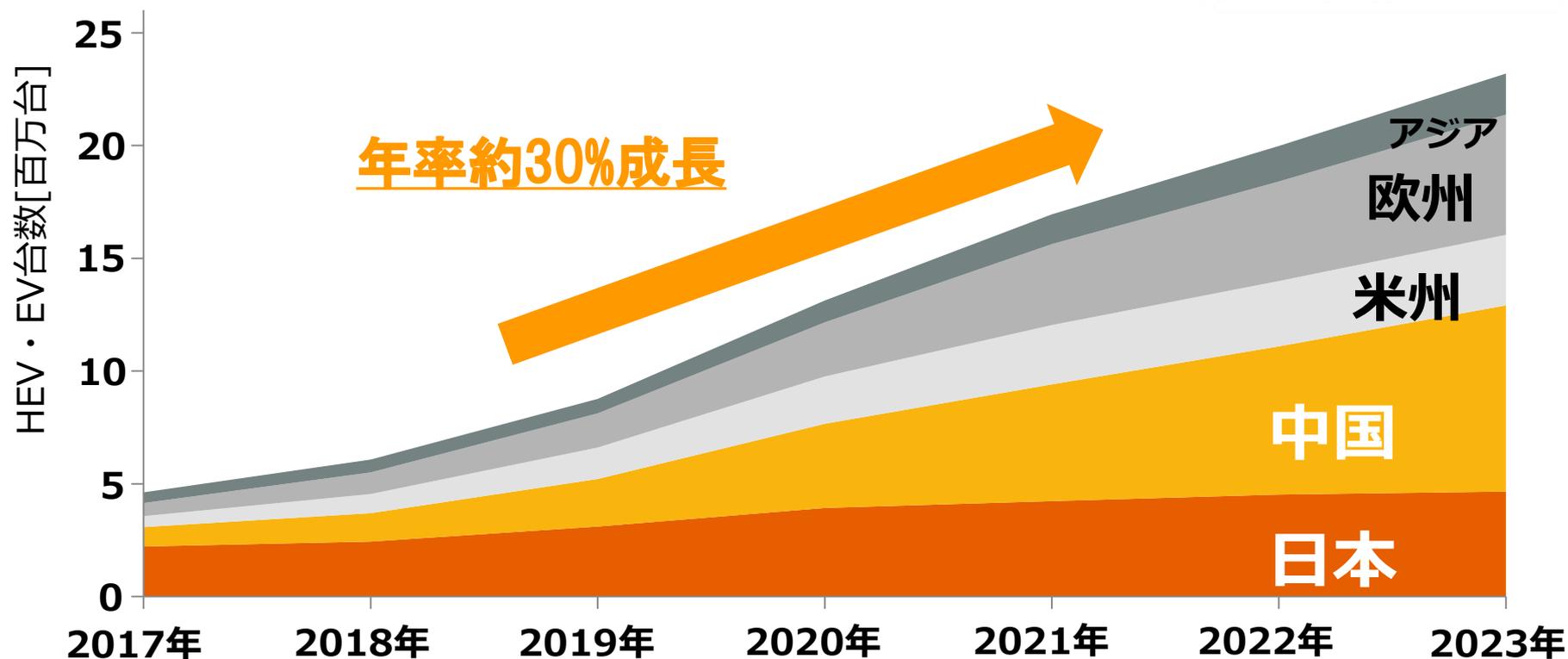
フェライト磁石

世界5拠点の
グローバル供給体制

2. 市場環境:EV*の需要拡大

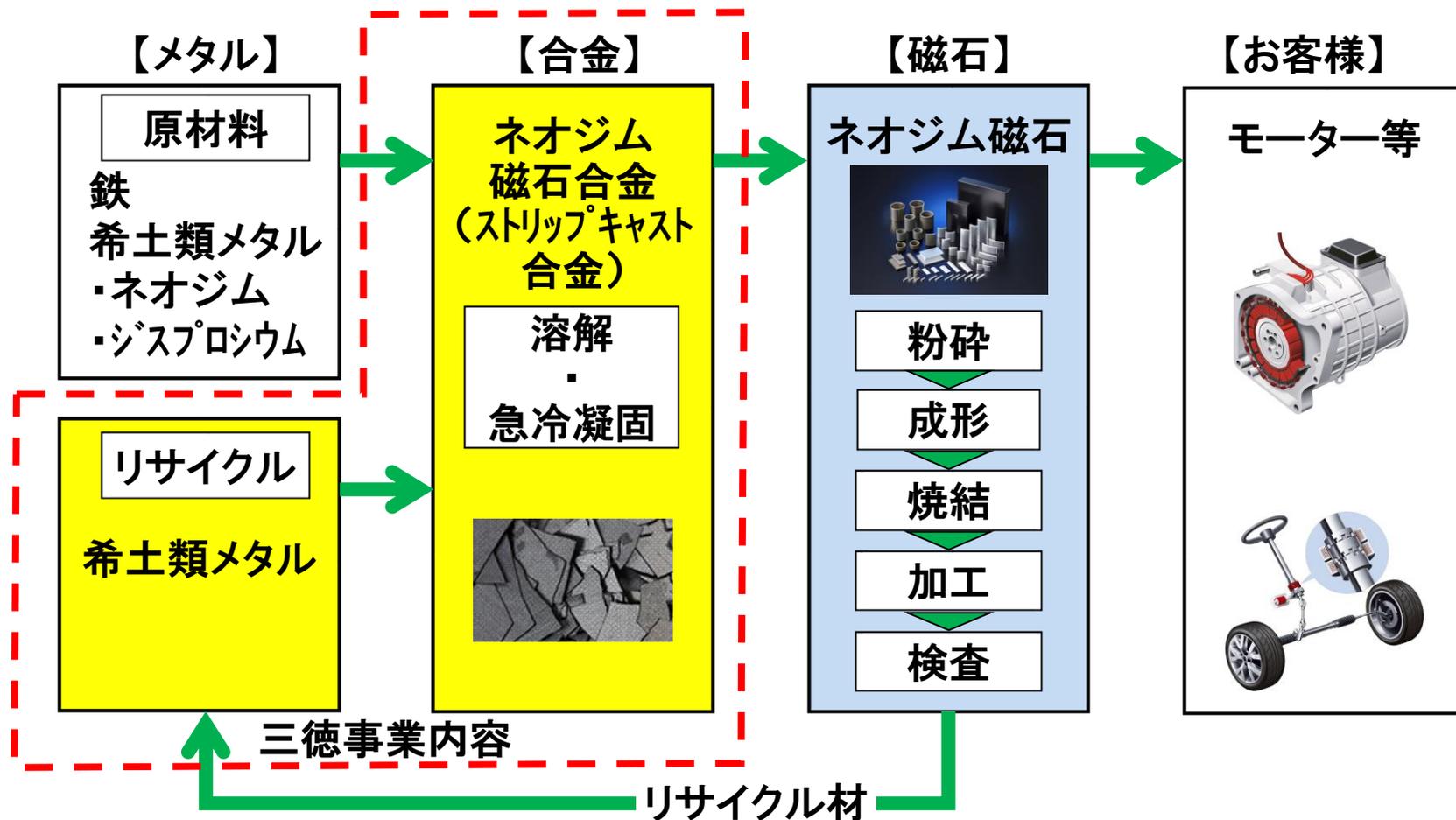
自動車関連市場

- ◆EVの普及が進むのに従い、中国を始め世界各国におけるEVの生産台数が急激に拡大していく見通し。
- ◆世界全体での予想成長率は、年率約30%(2017年~2023年)とみられている。



各国・各地域におけるEV生産台数予測(出典：各種資料を参考に当社推定)

三徳株式を取得し、子会社とすることで 合金製造とリサイクルを内製化



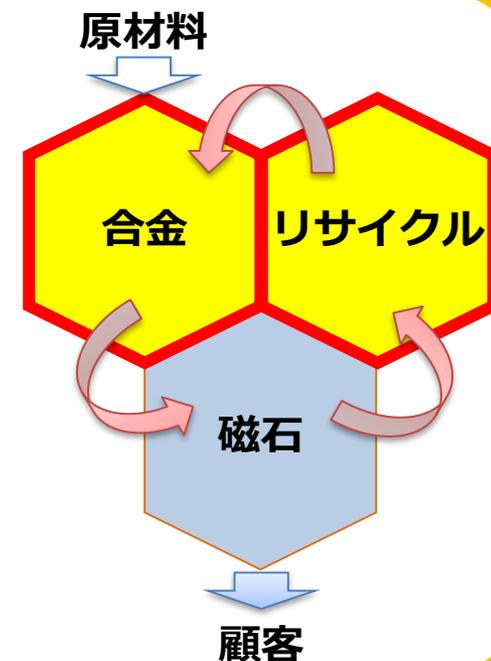
内製化により、最適マテリアルフローを実現

ネオジム合金～ネオジム磁石～リサイクルの一貫生産

リサイクルを取り込んだ原材料調達体制

内製化による品質/コスト/納期の一元管理

磁石の性能を最大限に引き出す材料開発



5. 株式会社三徳の概要

レア・アース金属、合金製造のプロセスに独自のノウハウを蓄積

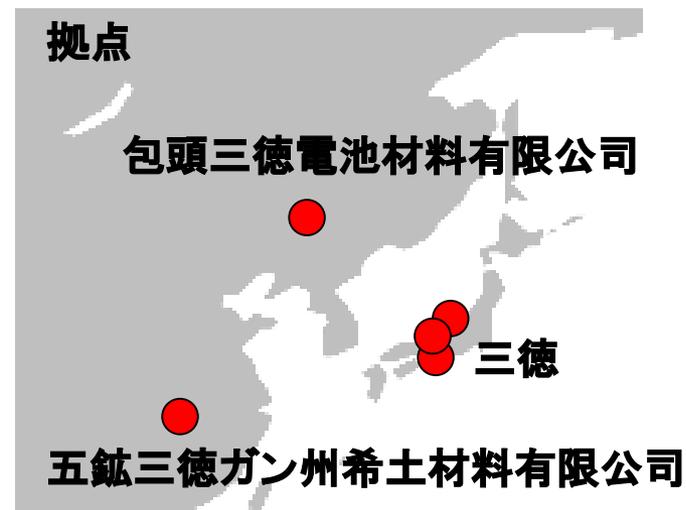
世界で初めてレア・アースの溶融塩電解や急冷合金の量産化に成功

原料から高純度化合物、各種合金までを一貫生産

合金組織制御技術中心に高い技術力を保有

ネオジム磁石合金のストリップキャスト製法の特許を保有

名称	株式会社三徳
所在地	兵庫県神戸市東灘区
設立	1949年
代表者	代表取締役社長 岡田 力
資本金	15億円
売上高	178億円(2017年3月期)
事業内容	希土化合物、希土メタル、 磁石材料、電池材料の製造・販売
従業員数	296名(単独 2017年3月末時点)



「成長市場でシェア増大して事業規模拡大」

2025年度売上目標：2,000億円
(2016年度実績：998億円⇒2018年度計画：1,200億円)

市場が拡大するネオジム磁石事業を強化

生産能力のさらなる増強 (目標：2016年度対比 2倍)

- 革新的生産ラインの拡張
- 日立金属三環磁材有限公司

重希土類の使用量抑制

- 省重希土類化 (フリー化含む)
- 重希土類拡散

安定生産体制 マテリアルフローの最適化

- 磁石合金の内製化
- リサイクル工程の強化

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となる主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動